

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587004101	科目番号	05870041
授業科目名	●先進医学と現代社会II(免疫と病気)		
編集担当教員	由井 克之		
授業担当教員名(科目責任者)	由井 克之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	由井 克之, 本間 季里, 阿比留 教生, 一瀬 邦弘		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL	819-7070		
担当教員オフィスアワー	12-13時		
授業の概要及び位置づけ	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業到達目標	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業方法(学習指導法)	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、またグループ毎の学生発表会等を開催して学生の授業への積極的な参加を促す。 身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業内容	回	内容	
	1	導入、伝染病と二度なし(担当:由井)	
	2	二度なしの原理(担当:由井)	
	3	抗体(担当:由井)	
	4	グループ発表会(担当:由井)	
	5	アレルギーI(担当:本間)	
	6	アレルギーII:プレゼンテーションと質問(担当:本間)	
	7	ガンI(担当:本間)	
	8	ガンII:プレゼンテーションと質問(担当:本間)	
	9	免疫不全症I(担当:本間)	
	10	免疫不全症II:プレゼンテーションと質問(担当:本間)	
11	免疫が自分を攻撃する病気とは?(担当:一瀬)		

	12	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは？（担当：阿比留）
	13	免疫病にはどのような治療法があるのか？（担当：一瀬・岩本）
	14	免疫と神経・筋疾患（担当：阿比留・中嶋）
	15	総まとめ（担当：由井）
	16	予備
キーワード	抗体、白血球、感染	
教科書・教材・参考書	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年	
成績評価の方法・基準等	筆記試験（60％）。 授業中に行う課題レポート及び小テスト（40％）。	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587004501	科目番号	05870045
授業科目名	●先進医学と現代社会II(エイズと性感染症)		
編集担当教員	西田 教行		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 教行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 教行		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生 (クラス等)	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	感染分子解析学		
担当教員TEL	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー	木曜午後5時以降		
授業の概要及び位置づけ	HIV感染・エイズについての諸問題を考える。また他の性感染症の実態と対策について学ぶ。		
授業到達目標	情報を集取できる 情報の信頼性を吟味できる 情報をもとに論理的考察ができる 異なるアプローチを理解できる 異なる意見、考え方を理解し議論できる		
授業方法 (学習指導法)	アクティブラーニングを中心に行う。テーマについて各自情報を集取し、分析、発表を行う。グループ学習を行う。講義時間は主にディスカッションの時間とする。		
授業内容	回	内容	
	1	講義オリエンテーション、概要説明、グループ分け、サブテーマ決め	
	2	HIVグループ発表準備、グループディスカッション	
	3	HIVグループ発表 (1)、ディスカッション	
	4	HIVグループ発表 (2)、ディスカッション	
	5	全体討論	
	6	HIVグループ発表 (3)、ディスカッション	
	7	HIVグループ発表 (4)、ディスカッション	
	8	HIVグループ発表 (5)、ディスカッション	
9	性感染症グループ発表 (1)、ディスカッション		

	10	性感染症グループ発表（2）、ディスカッション
	11	性感染症グループ発表（3）、ディスカッション
	12	レポート作成準備
	13	レポート作成指導
	14	レポート作成指導
	15	最終個人発表会（1）
	16	最終個人発表会（2）
キーワード	エイズ、HIV、性感染症	
教科書・教材・参考書	参考図書（推薦本） 薬害エイズ「無罪判決」、どうしてですか？：桜井よしこ他 エイズを知る：エイズ&ソサエティ研究会議 感染症は世界史を動かす：岡田晴恵 エイズ[ウイルスの起源と進化]：山本太郎訳、Jaap Goudsmit 著 エマージングウイルスの世紀：山内一也 血液の歴史：ダグラス・スター著、山下篤子訳	
成績評価の方法・基準等	レポート70点 発表30点 尚、詳細は変更することがある	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
備考（URL）	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/index.html	
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587004901	科目番号	05870049
授業科目名	●先進医学と現代社会II(感染症と文明)		
編集担当教員	山本 太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 太郎		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	熱帯医学研究所206号室		
担当教員TEL	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー	木曜日16:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ	大きく病気を適応不応から理解する		
授業到達目標			
授業方法 (学習指導法)	講義+集団学習+プレゼン		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	生物の構成因子、セントラルドグマなど	
	3	ダーウィニズム、ラマルキズム、中立説。生態学的観点から見た感染症	
	4	現代社会での新興感染症、インフルエンザ、HIVなど	
	5	ペスト、梅毒など、感染症が歴史を変えた事例	
	6	隔離対策、抗生物質の発見、疫学研究など	
	7	ドイツ医学の導入、コレラ、海港検疫と長崎	
	8	産業化にともなう疾病構造の変化、結核、女工	
	9	戦後復興とGHQによる制度改変、アメリカの影響	
	10	個々の研究事例の紹介	
	11	個々の研究事例の紹介	
	12	テーマ発表	
	13	テーマ発表	
14	テーマ発表		

	15	テーマ発表
	16	まとめ
キーワード		
教科書・教材・参考書	『感染症と文明』（岩波新書） 『新型インフルエンザ』（岩波新書） 『エイズの起源』（みすず書房）	
成績評価の方法・基準等	グループ発表	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/newrect/	
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587005301	科目番号	05870053
授業科目名	●先進医学と現代社会II(話題の先進医学)		
編集担当教員	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者)	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	工藤 崇		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生(クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害医療研究所 原研放射		
担当教員TEL	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー	16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ	現代の医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・近代的な医療・医学という意味です。		
授業到達目標	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業方法(学習指導法)	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	診断学と放射線	
	3	X線を用いた画像診断	
	4	X線を用いない画像診断(MRI)	
	5	放射性同位元素を用いた診断	
	6	統計学と画像	
	7	放射線と治療	
	8	グループ学習：物理学と医療	
	9	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識	
	10	歯学と材料工学	
11	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識		

	12	耳鼻科先進医学と工学
	13	眼科の先進医学と光学
	14	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには
	15	グループ学習発表
	16	
キーワード	近代医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。	
成績評価の方法・基準等	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。レポートの提出を義務づける。	
受講要件（履修条件）	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	時々、新聞記事、ネットなどを用いて現代の医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587005701	科目番号	05870057
授業科目名	●先進医学と現代社会II(幹細胞と再生医療)		
編集担当教員	李 桃生		
授業担当教員名(科目責任者)	李 桃生		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	李 桃生, 田口 潤, 堺 裕輔, 虎島 泰洋		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	1-4年		
担当教員Eメールアドレス	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害研究所 幹細胞生物学部門		
担当教員TEL	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー	8:00am-5:00pm		
授業の概要及び位置づけ	幹細胞と再生医療は医学と生命科学領域に非常に注目されている最先端の課題であるが、不明な点も多く存在する。生命、健康、医療、倫理、医療ビジネスなど 様々な角度から、このは話題性の富む課題に直面している問題点を提起し、物事に関する分析、考え、解釈など基本的な能力を養う。		
授業到達目標	最先端の幹細胞と再生医療に関する基礎知識、研究応用の現況と問題点を伝授しながら、基本的な考えと解釈の力を養う。		
授業方法(学習指導法)	講義形式で行いますが、幹細胞と再生医療に関する専門知識の伝授よりも一般的な問題について質疑応答を取り入れ、学生の考える力、解釈の力などを鍛える。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、幹細胞の基礎知識(李) General guidance of lecture, Basic knowledge on stem cell biology.	
	2	体性幹細胞について(李) About the adult stem cells.	
	3	胚性幹細胞について(李) About the embryonic stem (ES) cells.	
	4	iPS細胞について(李) About the induced pluripotent stem (iPS) cells.	
	5	クローン技術について(李) About the cloning technology.	
	6	グループ学習と討論(幹細胞研究の倫理問題について)(李) Group learning and discussion on the ethical problems related to stem cell researches/applications.	

授業内容	7	再生と再生医療の基礎知識 (李) Basic knowledge on regenerative medicine.
	8	造血幹細胞と再生医療 (1) (田口) Hematopoietic stem cells and clinical applications (1).
	9	造血幹細胞と再生医療 (2) (田口) Hematopoietic stem cells and clinical applications (2).
	10	肝臓・膵臓の再生医療 (堺) Stem cell therapy for liver and pancreatic diseases.
	11	消化管の再生医療 (虎島) Stem cell therapy for digestive diseases.
	12	心臓・血管の再生医療 (李) Stem cell therapy for cardiovascular diseases.
	13	脳・神経の再生医療 (李) Stem cell therapy for brain and neurological diseases.
	14	その他の領域の再生医療、グループ学習 (李) Stem cell therapy for other diseases, Group learning.
	15	学生発表と総合討論 (李) Presentation and discussion.
	16	試験 (李) Test
キーワード	幹細胞, 再生医療, 疾患	
教科書・教材・参考書	特になし	
成績評価の方法・基準等	授業内の質疑応答とレポート (50%) 発表 (25%) 試験 (25%)	
受講要件 (履修条件)	授業に出席でき、問題を積極的に考える学生	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		

